

志賀自然教育研究施設年報

平成15(2003)年2月～平成16(2004)年1月

I 人 事

別府 桂助教授の施設長任期終了に伴う選挙が2月に行われ、引き続き、別府助教授が選出された（任期は平成15年4月1日から17年3月31日まで）。

II 概 況

大学独立法人化に向けて昨年度立案された志賀施設の中期目標・中期計画がいよいよ信州大学国立大学法人準備委員会目標・計画専門部会長へ提出された。それぞれ次の通りである。

○中期目標

- 1) 施設で行う授業や実習をカリキュラムの中到的確に位置づけ、その内容の向上に努める。
- 2) 学内外の関係研究機関・施設等との連携を深め、地域の環境問題に積極的に取り組む。

○中期計画

- 1) 2年次生を対象とした「自然教育」の授業内容を見直し、登山・キャンプ・遠足等の教育実践に役立つ実習となるよう改善し実施する。
- 2) 信州大学山岳科学総合研究所のプロジェクト研究に参画し、他大学や地域の関係研究機関・施設との連携を深め、地域の自然環境の動態分析等に関する共同（協同）研究等を推進する。

これらを踏まえ、教育活動に関して本年度は、学長裁量経費の配分を得て『「自然教育」の実践と課題ー“志賀実習”の歴史と現状そして課題』と題した報告書を作成し、ひとまず「自然教育」の見直しを図るための礎を築いた。一方、研究活動に関しては、昨年に引き続き信州大学山岳科学総合研究所のアンブレラ組織として機能できるよう働きかけるだけでなく、長野県自然保護研究所や森林総合研究所等外部研究機関の研究者との共同研究を開始した。さらに、山ノ内町、飯山市、野沢温泉村、群馬県嬭恋村など近隣市町村と連携し、地域の自然環境を住民や行政と考える機会をこれまで以上に設けた。

日常業務では、学芸員資格取得のための必須科目「博物館実習」で本学部の学生4名を受け入れ、ロックガーデンの整備、図書整理、研究業務などにかかわってもらった。

一方、資料館では老朽化した展示室の内壁の塗り替えと照明装置の取り替え工事が学部長裁量経費の配分を得てなされた。また、前年度予算執行が決定していたが積雪のため保留になっていたカヤノ平ブナ原生林教育園内の解説版の基礎の取り替え工事がなされた。

III 運 営 委 員 会

1. 第一回運営委員会：平成15年5月28日（水）（教育学部第一会議室）

- (1) 平成14年度事業報告, (2) 平成14年度決算報告, (3) 平成15年度事業案計画案, (4) 平成15年度当初予算案, (5) その他, についてそれぞれ審議した。

まず、施設主任より平成14年度事業について報告があり、施設長が補足説明を行った。特に質問事項もなく原案通り承認された。その後、カヤノ平分園の案内看板と説明柱の工事が事務の方々の協力で完成した経緯を説明し、今後の分園の利用促進の依頼を委員の方々にお願いした。続いて施設主任から平成15年度の事業計画案の説明があった。その後、施設長より第二回目の運営委員会を9月25日（木）に志賀施設で開きたいという提案がなされ、両案とも承認された。

平成14年度決算報告と平成15年度予算案について竹下経理係長より説明があり、それに対する質疑応答がなされた。施設長よりさらに予算の使用状況について説明があり、その後両案とも原案通り承認された。

2. 第二回運営委員会：平成15年9月25日（木）（志賀自然教育研究施設・カヤノ平分園）

- (1) 平成15年度の予算執行状況, (2) 施設の現況と将来について, (3) カヤノ平分園の看板整備後の状況, につ

いてそれぞれ審議した後、教育園内及びカヤノ平分園を視察した。

まず、平成15年度9月中旬までに執行された事業について施設主任より報告があり、それに伴う予算の執行状況について竹下経理係長より説明があった。本部からの配分が未定な部分もあるが、ほぼ予定どおりの執行状況であり(約40%)、今後も事業計画に基づいた予算執行を行うことで、年度前半の施設の運営に関しては承認された。

施設の現況について、最初に施設長より報告があり、整備を要する点に関しては学長裁量経費や学部長裁量経費を申請し施設設備の改善に努めたい旨説明があった。経理係長からは、それらの申請に対する採択状況の説明がなされた。また、施設の改組計画に基づき、全学共同利用施設として改組する方向で昨年度より山岳科学総合研究所へ働きかけを行ってきたが、その進捗状況について施設長より説明があった。志賀施設は現在、山岳科学総合研究所のアンブレラ組織として位置づけられているが、その位置づけについては変化がないことが報告された。その後、「自然教育」の実施に関していくつかの質問があったため、授業設立の経緯を説明し、その問題点について議論した。また、独立法人化後の施設の運営について議論した。

次に、昨年度秋にカヤノ平分園の入り口看板と説明柱が新しいものに交換されたことが施設主任より報告され、整備後の利用促進をどのように進めるかといった説明がなされた。その後、施設主任の案内で現地を視察し、分園の利用法についていくつかの意見を運営委員の方からいただいた。会議終了後、施設長と施設主任の案内で、施設周辺とカヤノ平ブナ原生林教育園内の現地視察を行った。

〔運営委員〕任期：平成15年3月まで、以下、いずれも敬省略。

(言語) 谷本泰子, (社会科学) 鶴飼照喜, (理数科学) 鈴木次雄, (生活科学) 干川圭吾, (芸術) 関 信一, (スポーツ科学) 渡辺隆一, (教育科学) 馬場将光, (教育実践センター) 今田里佳, (施設長) 別府 桂

〔事務局〕古平事務長, 柳沢同補佐, 竹下経理係長, 中村用度係長, 山本専門職員, 下原管理係長, 寺島学務係長, 風間経理係主任

〔施設職員〕(施設主任) 井田秀行, (技官) 春日基文

IV 研究と教育活動

1. 志賀実習

教育学部2年生全員が対象となる必修授業「自然教育」と教員養成課程合宿研修の合体した志賀実習を10班、施設で受け入れ、井田助教授及び別府助教授の2人で分担して行った。日程は以下の通りである。カッコ内は人数。

自然教育+教員養成課程合宿研修(計288名)

第1班	8月4日(月)~8月6日(水)	国語教育分野(18) 英語教育分野(16)
第2班	8月6日(水)~8月8日(金)	総合・生活科教育分野(10) 理科教育分野(21)
第3班	8月18日(月)~8月20日(水)	音楽教育分野(18) 保健体育科教育分野(12)
第4班	8月20日(水)~8月22日(金)	生涯スポーツ課程(地域スポーツ・野外教育)(33)
第5班	8月25日(月)~8月27日(水)	ライフプランニング教育分野(10) 環境教育分野(6) 情報・技術教育分野(3)
第6班	8月27日(水)~8月29日(金)	数学教育分野(34)
第7班	9月1日(月)~9月3日(水)	社会科教育分野(19) 美術教育分野(15)
第8班	9月3日(水)~9月5日(金)	国際理解教育分野(10) コンピュータ利用教育分野(19)
第9班	9月8日(月)~9月10日(水)	心理臨床分野(20) 臨床学校教育学分野(7)
第10班	9月10日(水)~9月11日(木)	障害児教育専攻(20)(1泊2日:合宿研修のみ)

2. 施設教官による教育学部および大学院教育学研究科授業・実習

(教育学部授業・実習)

「総合演習：森に学ぶ」前期2単位を開講(井田)

「自然体験研究演習」前期2単位を開講(別府)

「自然体験研究特講」後期2単位を開講(別府)

「博物館実習」で本学部学生4名を受け入れ（井田）

（教育学研究科授業・実習）

「生物学特論Ⅰ」前期2単位で開講（別府）

「生物学演習Ⅰ」前・後期各2単位で開講（別府）

「生物学特論Ⅳ」前期2単位で開講（井田）

3. 大学公開講座

講座名「郷土の自然をさぐる」（参加者 一般社会人19名）

第1日 6月8日（日）10時～15時（講師 別府助教授）志賀自然教育園内の自然観察

第2日 7月13日（日）10時～15時（講師 井田助教授）カヤノ平ブナ林の自然観察

第3日 9月14日（日）10時～15時（担当講師 赤羽教授）長野市街地の自然観察

4. 出版

研究業績40号（450部印刷）を3月に、自然便り「長池の四季」（400部印刷）を2回（4, 8月）発行した。また、学部長裁量経費の配分を得て、『「自然教育」の実践と課題—“志賀実習”の歴史と現状そして課題』と題した報告書を400部作成、発行した（平成16年3月発行）。

5. 大学関係の授業・実習

平成15年

2月4～5日 信州大学人文学部・合宿研修

2月12～14日 埼玉大学教育学部・雪の観測

2月17～19日 信州大学理学部物質循環学科・野外実習

3月3～6日 大阪教育大学教育学部・降雪観測実習

5月26～28日 米国ユタ大学・日本語研修

6月23～26日 岡山理科大学・生物学野外調査法特論

7月23～25日 上越教育大学・生物学野外実習

7月28～29日 信州大学大学院教育学研究科・生物学演習Ⅴ

9月24～26日 信州大学理学部物質循環学科・野外調査実習Ⅰ

6. 研修会・観察会支援活動

平成15年 *別府施設長担当分、カッコ内は実施場所。

2月2日 美ヶ原自然保護センター冬季自然講座講師（三城牧場県民の森）

2月5日 エル・ネットオープンカレッジ『ところかわれば生活かわる—環境で違う植物の暮らし3. 人と共に歩んできた里山林』講義（デジタル衛生テレビ放送にて放映）

3月9日 信州大学山岳科学総合研究所市民講演会講演（信州大学旭キャンパス）

4月20日 やまぼうし自然学校森林インストラクター養成講座講師（菅平高原国際リゾートセンター）

4月29日 環境省「自然にふれあうみどりの日の集い」講師（志賀自然教育園）

5月29日 長野県立坂城高等学校自然観察会講師（志賀自然教育園）

5月30日 長野市立博物館協議会委員（長野市立博物館）

6月9日 長野県山ノ内町観光ボランティアガイド研修会講師（飯山市鍋倉山）

6月22日 長地薬草研究会自然観察会講師（飯山市鍋倉山）

6月23日 *北信地区高等学校実習補助現地研修講師（カヤノ平分園）

7月5日 飯山市主催「山の恵みシンポジウム」講演（飯山市公民館）

7月6日 飯山市立戸狩小学校職員研修会講師（飯山市鍋倉山）

7月15日 *埼玉大学附属中学校高原教室（志賀自然教育園）

7月22日 埼玉県北本市立西小学校林間学校講師（志賀高原自然保護センター）

7月26日 環境省「自然に親しむ運動」観察会講師（志賀自然教育園）

8月1日 *中野・下高井郡小中学校教諭初任者研修（カヤノ平分園）

8月9日 環境省「自然に親しむ運動」観察会講師（志賀自然教育園）

9月4日 北志賀高原アワラ湿原自然観察インストラクター研修会講師（アワラ湿原）

- 9月6日 やまぼうし自然学校森林インストラクター養成講座講師（志賀自然教育園・カヤノ平分園）
9月26日 長野県立屋代高等学校森林生態講座講師（志賀自然教育園・カヤノ平分園）
11月26日 国天然記念物「湯の丸レンゲツツジ群落」保護増殖事業意見聴取会顧問（群馬県吾妻郡嬭恋村
鹿沢インフォメーションセンター）
12月9日 長野市立博物館協議会委員（長野市立博物館）
12月14日 長池の会講演（信州大学教育学部しなのき会館）
平成16年
1月24日 国天然記念物「黒岩山」保全協議会顧問（飯山市外様活性化センター）

V 園内整備

例年通り、志賀自然教育園内及びカヤノ平分園内の自然観察路の落ち葉掃除、側溝整備、笹刈り、階段整備を5月から10月まで行った。同時にロックガーデンの植物への名札つけなどの作業も随時行った。

カヤノ平分園において、前年度予算での執行が決まっていた遊歩道沿いの解説版の基礎の取り替えが融雪後になされた。また、本年度学長裁量経費の配分を得て老朽化の激しかった展示館内壁の塗り替えと照明装置の取り替えがなされた。

VI 平成14年度の志賀施設の利用状況

(1) 資料館入館者の集計表（記帳者のみ）

表1. 来館団体の種類

	県 外				県 内				計			
	団体数		人 数		団体数		人 数		団体数		人 数	
小 学 校	15	31.3%	1,288	49.7%	3	21.4%	63	21.5%	18	29.0%	1,351	46.8%
中 学 校	6	12.5%	476	18.4%	1	7.1%	20	6.8%	7	11.3%	496	17.2%
高等 学 校	3	6.3%	129	5.0%		0.0%		0.0%	3	4.8%	129	4.5%
専 門 学 校	1	2.1%	32	1.2%	1	7.1%	60	20.5%	2	3.2%	92	3.2%
大 学	1	2.1%	127	4.9%		0.0%		0.0%	1	1.6%	127	4.4%
一 般	22	45.8%	540	20.8%	9	64.3%	150	51.2%	31	50.0%	690	23.9%
計	48	100.0%	2,592	100.0%	14	100.0%	293	100.0%	62	100.0%	2,885	100.0%

表2. 団体の県内外の比率

団体の種類	小 学 校	中 学 校	高等 学 校	専 門 学 校	大 学	一 般
県 内	17%	14%	0%	50%	0%	29%
県 外	83%	86%	100%	50%	100%	71%

表3. 月別参観者数

月	個 人		団 体				計	
	人 数	比率	団 体 数	人 数	比率	人 数	比率	
5	66	4.0%	5	130	4.5%	275	5.6%	
6	159	9.8%	7	324	11.2%	410	8.3%	
7	294	18.0%	33	2,023	70.1%	2,338	47.3%	
8	868	53.3%	11	259	9.0%	1,302	26.3%	
9	98	6.0%	2	72	2.5%	393	7.9%	
10	145	8.9%	4	77	2.7%	226	4.6%	
11	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	
計	1,630	100.0%	62	2,885	100.0%	4,944	100.0%	

(2) 平成14年度 附属志賀自然教育研究施設月別宿泊利用人数

区 分	年・月	14年										15年		計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利 用 人 数	学 内	0	0	0	0	0	42	0	6	0	0	71	1	120
	合宿研修等	0	0	0	0	181	118	0	0	0	0	0	0	299
	学 外	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	9	7	36
	計	0	0	0	20	181	160	0	6	0	0	80	8	(414) 455
宿 泊 延 人 数	学 内	0	0	0	0	0	80	0	6	0	0	117	1	204
	合宿研修等	0	0	0	0	341	208	0	0	0	0	0	0	549
	学 外	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	17	21	75
	計	0	0	0	37	341	288	0	6	0	0	134	22	(770) 828

() 内は平成13年度の数